

スペイン語ペア部門 課題文

Palabras para ser libres — 自由になるための言葉

今年の課題は、スペイン映画『La lengua de las mariposas』（邦題：蝶の舌）に着想を得たレシテーション大会用オリジナル課題です。A/B で交互に暗唱し、このシーンを表現してください。

★舞台設定

放課後の教室（あるいは図書室）。

先生 A（モデルはドン・グレゴリオ）と生徒 B（モデルはモンチョ）が、「読書ことばの力」について静かに語りあっています。

先生 A は「ことば＝自由の道具」という価値観を、やさしい語彙で反復しながら生徒 B に伝えます。

「todavía（まだ）」「gracias（ありがとう）」など、日常でよく使うことばの奥にある深い意味を考えさせられるシーンです。

★スペイン語の課題

A (先生) × B (生徒)

A: ¿Sabes por qué/ cuidamos las palabras? //

B: Para sacar buenas notas…/ ¿no? //

A: También./ Sobre todo,/ para ser libres. //

B: ¿Libres como los pájaros? //

A: Libres como quien elige/ y entiende. //

B: A veces me da miedo/ equivocarme. //

A: El error enseña/ si lo miras de frente. //

B: ¿Y si se ríen de mí? //

A: Ríe con ellos…/ y sigue. //

B: Profe,/ ¿qué palabra le gusta más? //

A: "Gracias"./ Abre puertas/ sin llave. //

B: La mía es "todavía". //

A: Buena palabra:/ deja espacio al futuro. //

B: Todavía me cuesta/ leer en voz alta. //

A: Respira,/ marca comas,/ y comparte el sentido. //

B: ¿Puedo elegir un libro? //

A: Elige uno/ que te haga preguntas. //

B: Entonces…/ el de las mariposas. //

A: Llévalo./ Trátalo como a un amigo. //

B: Prometo devolverlo…/ y entender un poco más. //

[UNÍSONO] Las palabras nos cuidan/ si las cuidamos. //



【画像：場面のイメージ】

記号：/=短い息継ぎ、//=/文末の長めの息継ぎ、…=ためらいや余韻

[UNÍSONO]=ユニゾン（2人一緒に）

★日本語の意味

A(先生)：どうして言葉を大切にするのか、わかる？
B(生徒)：いい成績のため…ですよね？
A：それもね。でもいちばんは、自由になるためだ。
B：鳥みたいに自由？
A：自分で選び、理解できる自由だよ。
B：ときどき、まちがえるのが怖いです。
A：正面から向き合えば、失敗は先生になる。
B：みんなに笑われたら？
A：いつしょに笑って…それでも前へ進みなさい。
B：先生、いちばん好きな言葉は何ですか？
A：「gracias（ありがとう）」だ。鍵がなくても扉を開いてくれる。
B：ぼくは「todavía（まだ）」。
A：いい言葉だ。未来に余白を残してくれる。
B：ぼくはまだ音読が苦手で……。
A：息をして、コンマで区切って、意味を分かち合おう。
B：本、選んでもいいですか？
A：君に問い合わせてくる本を選びなさい。
B：じゃあ…「ちょうどよ」の本にします。
A：持っていきなさい。友だちのように大切にね。
B：ちゃんと返します…そして、もう少しわかるようになります。
【A+B 一緒に】 言葉を大切にすれば、言葉も私たちを守ってくれる。

★映画『La lengua de las mariposas』（邦題：蝶の舌）とは

○1999年公開、ホセ・ルイス・クエルダ監督の名作。1936年のガリシアを舞台に、内気な少年モンチョと博識で温かい教師ドン・グレゴリオの交流を描いています。主演はフェルナンド・フェルナン・ゴメス、マヌエル・ロサノ。物語はスペイン内戦の勃発とともに少年の“成長”と“喪失”が交差します。
○原作：作家マヌエル・リバスの短編集『¿Qué me quieres, amor?』所収の複数短編（ガリシア語「A lingua das bolboretas」等）に基づきます。
○受賞：第14回ゴヤ賞 脚色賞（アダプテッド・スクリーンプレイ）受賞。

★課題の練習方法

○モデル音声をよく聞いて、まずは滑らかに音読できるように練習しましょう
○記号（／=短い息継ぎ、／／=文末の長めの息継ぎ、…=ためらいや余韻）も参考にしてください。
○A（先生）とB（生徒）の関係性を考えながら演じてみましょう。